

平成 23 年 1 月 31 日

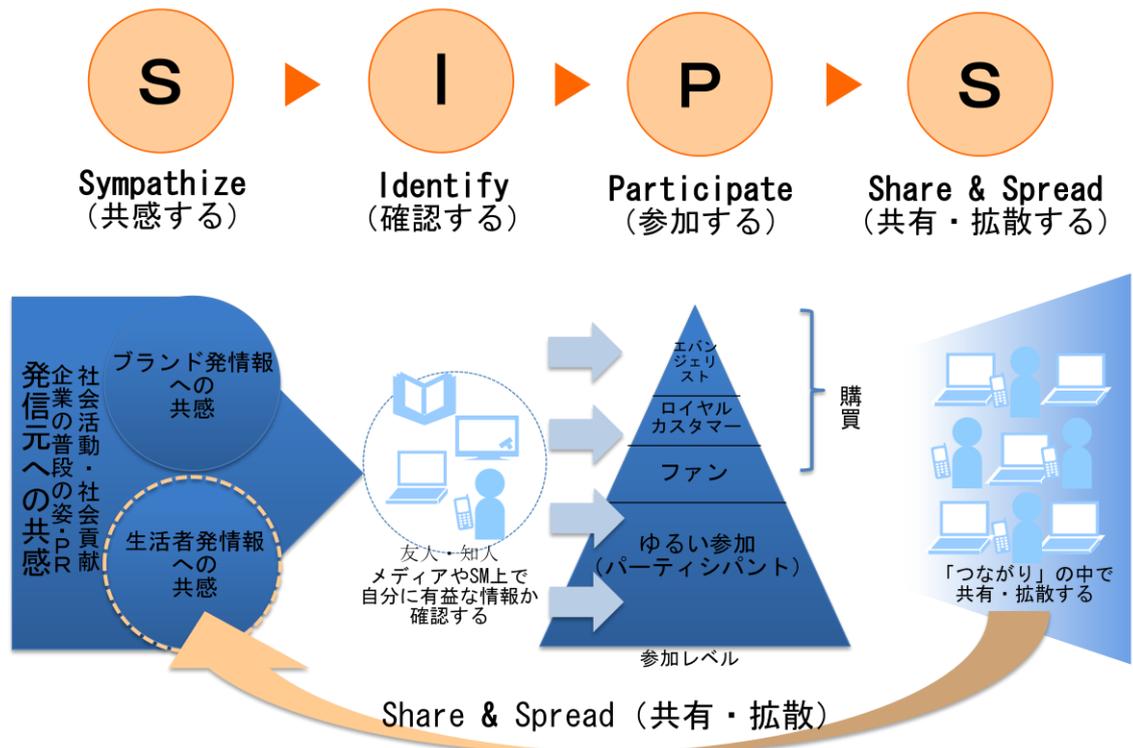
電通「サトナオ・オープン・ラボ」が ソーシャルメディアに対応した消費行動モデル概念『SIPS』を発表

株式会社電通の「サトナオ・オープン・ラボ」(※1)は、ソーシャルメディアに対応した新しい生活者消費行動モデル概念「SIPS」を発表しました。電通では、この生活者消費行動モデル概念を、ソーシャルメディアを積極的に利用している生活者を考える上でのひとつの指標として捉え、今後、企業のコミュニケーション・プランニングなどにおいて提唱していきます。

ここ数年、ソーシャルメディア（ブログ、リアルタイムウェブ、SNS など、人と人のつながりによって出来上がるメディア）の普及が世界的に進み、日本でも無視できない存在になってきました。また、スマートフォンの普及により、モバイル環境でのソーシャルメディアの活用も伸びています。今後、日本でもこの勢いでソーシャルメディアが普及し続けた場合、コミュニケーションの方法も大きく変化(※2)していくことが予想されます。

次世代のコミュニケーションを考察する場である「サトナオ・オープン・ラボ」では、これからのソーシャルメディアに対応した生活者消費行動を『共感する：Sympathize → 確認する：Identify → 参加する：Participate → 共有・拡散する：Share&Spread』とシンプルに整理し、その考え方を略して「SIPS」<詳細・解説は <http://www.dentsu.co.jp/sips/>>と名付けました。

SIPS : 来たるべきソーシャルメディア時代の
新しい生活者消費行動モデル概念



『SIPS』という考え方において、「共感 (Sympathize)」がすべての入り口となります。共感された情報しか広がっていきにくいソーシャルメディア上では、「生活者に共感された情報であること」が何よりも重要になります。そして、「共感」した情報や商品が自分の価値観に合い有益であるかどうかを、検索だけでなくあらゆる手段で「確認 (Identify)」します。そして購買行動を起こしますが、購買まで至らなくてもコミュニティに参加したり、ソーシャルメディア上で友人知人に（リツイートやいいね！ボタンなどで）教えたりすることで結果的に企業の販促活動に「参加 (Participate)」していきます。『SIPS』モデルでは、購買行動だけでなくこれらの購買を伴わない行動も「参加 (Participate)」と呼びます。そして、「参加」した生活者たちの、友人・知人に対する「共有 (Share)」行動は、自動的かつ無自覚的に自分が属するいろいろな「つながり」に「拡散 (Spread)」して、さらに共感を生み出していくのです。

この生活者行動モデルへの変化により、今後の広告は、「共感 (Sympathize)」を重視する視点が求められるでしょう。また、購買行動を、広く企業の活動への「参加 (Participate)」と考えること、そして情報伝播の変化を共有だけでなく「拡散 (Spread)」と捉えたのもこの考え方の特徴となります。

これからも電通は、ソーシャルメディア時代への変化にも先んじて対応し、変化の時代における企業の新しいマーケティング活動に、適切なソリューションでお応えしてきます。

(※1) 「サトナオ・オープン・ラボ」

広告の未来を考える著書やブログ、講演などで注目を集めている電通コミュニケーション・デザイン・センター シニア・クリエイティブ・ディレクターの佐藤尚之 (通称：さとなお) をリーダーとし、社内の様々な部署より横断的に集ったメンバーにより、生活者視点の次世代型ソリューションを考察しているユニットです。SIPS 概念研究メンバーは、佐藤尚之、金田育子、京井良彦、信澤宏至、茂呂謙治、橋口幸生、宮林隆吉、貝洲岳洋。

(※2) 「SIPS」と「AISAS®」の関係性

電通では、2004年から「AISAS®」という消費行動モデルを提唱しています。

インターネットの普及を背景に、消費者が自ら情報を収集し、発信し、他者と共有するという行動を踏まえて、「Attention (気づく) ⇒ Interest (興味をもつ) ⇒ Search (情報収集する) ⇒ Action (購入する) ⇒ Share (情報共有する)」というモデルとして、捉えたものです。

全ての人々が瞬時に情報にアクセスでき、自由に共有できるインターネット社会において、今後も電通では、「AISAS®」を、コミュニケーションの土台となる重要な消費行動モデルとして、グローバルで提唱してまいります。

「SIPS」は、進化したソーシャルメディアの視点を重視して、生活者の行動を深掘りした概念です。この考え方を元にして、よりきめ細かく的確なソリューションを提供していきます。

【本件、リリースに関するお問い合わせ先】

電通コーポレート・コミュニケーション局 広報部 市川、林田
Tel:03-6216-8041

【本件、内容に関するお問い合わせ先】

電通「サトナオ・オープン・ラボ」 佐藤尚之、金田育子
TEL:03-6216-8756 担当窓口：貝洲 (かいた)